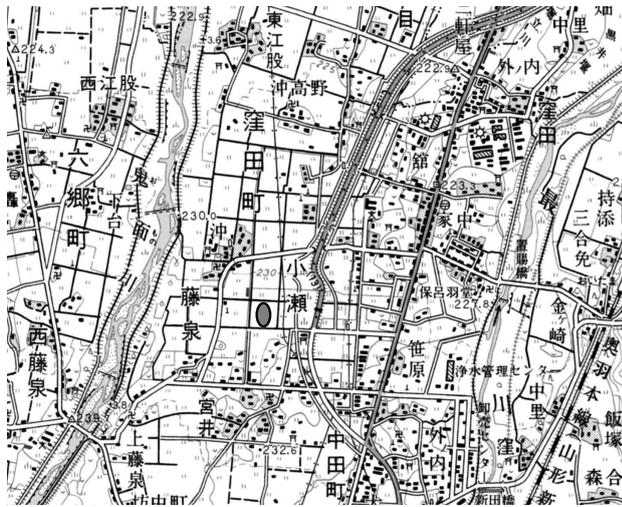


鎌倉上遺跡

遺跡番号 平成20年度登録
所在地 米沢市窪田町小瀬字鎌倉上
北緯・東経 北緯37度57分6秒 東経140度6分43秒
調査委託者 山形県置賜総合支庁建設部道路計画課
調査原因 道路ネットワーク整備事業(国道・交円改築)一般国道287号米沢北バイパス
調査面積 3,500㎡
現地調査 平成21年7月21日～11月13日
調査担当者 菅原哲文(調査主任)・山木巧・渡部裕司
調査協力 米沢市教育委員会・窪田コミュニティセンター・置賜教育事務所
遺跡種別 集落跡
時代 古墳時代
遺構 竪穴住居跡・掘立柱建物跡・河川跡・溝跡・畝跡・土坑・柱穴
遺物 土師器・須恵器・陶磁器・木製品・石製品・貨幣
(文化財認定箱数:21箱)



遺跡位置図(1:50,000)

調査の概要

鎌倉上遺跡は、米沢市北部に位置する窪田地区に所在する。遺跡は、西側を流れる鬼面川と東側の羽黒川(最上川)によって形成された複合扇状地の沖積地に立地しており、標高は230mである。遺跡から北方へ約1km地点には、全長約80mと県内でも最大級の規模を誇る前方後方墳の寶領塚古墳が位置している。

今回の調査は、国道287号米沢北バイパス建設事業に伴う緊急発掘調査として実施された。

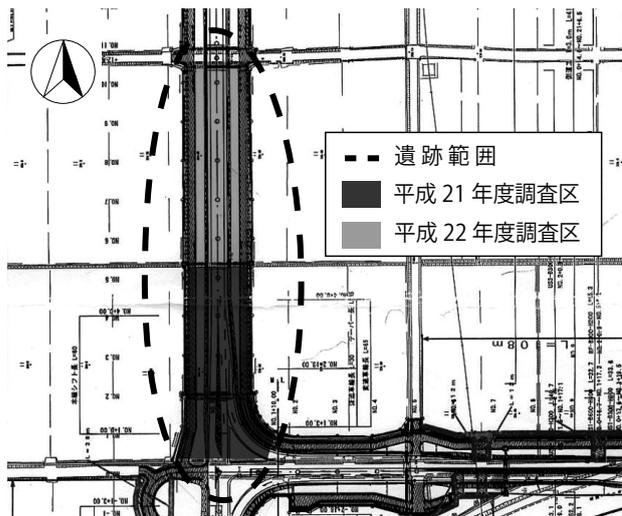
遺跡は、平成20年度に山形県教育委員会が行った試掘調査で確認され、新規登録された。その結果、事業区に係る遺跡範囲の約7,000㎡について、財団法人山形県埋蔵文化財センターが山形県から委託を受け、記録保存を目的とした緊急発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は、工事計画との調整から2か年に亘り行われる。今年度の調査は、南半域の約3500㎡を対象とし、7月下旬から11月上旬にかけて調査を行った。

検出遺構と出土遺物

今回の調査で、^{たてあなじゆうきよ}竪穴住居跡、^{ほったてぼしらたてもの}掘立柱建物跡をはじめ、^{ちゆうけつ}柱穴、^{うね}溝跡、河川跡、畑の畝跡が検出された。

調査区の北側では、竪穴住居跡が3棟が確認された。一辺が3.5～4.5m程の方形で、床面が硬化しており、一部には柱穴や^{じしやうろ}地床炉が確認された。いずれも住居内から伴出する遺物や遺構の形状から古墳時代前期と判断される。規模が最も大きいS T 22住居跡は、一辺の長さが4.5mを測り、主柱穴4本が確認されている。住居内の床面からは、古墳時代前期の^{はしき}土師器(壺・甕・^{つぼ}小型壺等)のほか、住居の建築部材と考えられる炭化材が出土している。また、住居の外周を囲むように環状の溝状遺構を配する。



調査区概要図 (1:4000)

掘立柱建物跡は、2棟確認された。S B 2建物跡は、柱間が2×2間の間取りで、4.4 m×4.8 m規模の方形の建物跡である。竪穴住居群のすぐ南側に位置しており、倉庫としての役割が想定される。

調査区南側では、河川跡が検出された。幅約4～7 m、深さは約1 mで、泥炭が厚く堆積する。北東方向へ流れていたと推測される。下層からは、面取り等の加工を施した棒状の木製品や板材等が出土している。その他、住居跡の周辺には、畑の畝跡と考えられる溝状遺構が確認されたことから、集落の中で畑作が行われていたことが想定される。

出土遺物は、主に古墳時代前期の土師器で、整理箱20箱程である。竪穴住居跡やその周辺に出土が多く認められる。器種は、煮炊きや貯蔵用の甕や壺、食物の盛りつけに用いられる鉢、高い台がつく高坏、他の器をのせる器台など、多様な種類が確認される。また、赤彩を施す小型の壺や器台等や、装飾品である緑色凝灰岩製の管玉も2点認められており、祭祀などに用いられたものと推測される。

まとめ

今回の発掘調査で、竪穴住居跡3棟、掘立柱建物跡2棟をはじめとする遺構が検出され、古墳時代前期の集落跡であることが確認された。居住施設や畑跡などの生産施設が集中する調査区の北端部は、集落の南端であると考えられ、集落の範囲が北側へと及んでいる可能性が高い。古墳時代前期の集落跡は、米沢盆地では類例が少なく、今回の調査は、当時の集落の様相が明らかになった貴重な事例となる。



調査区全景 (南から)



調査区作業状況 (南から)



遺物包含層出土の土師器甕 (西から)



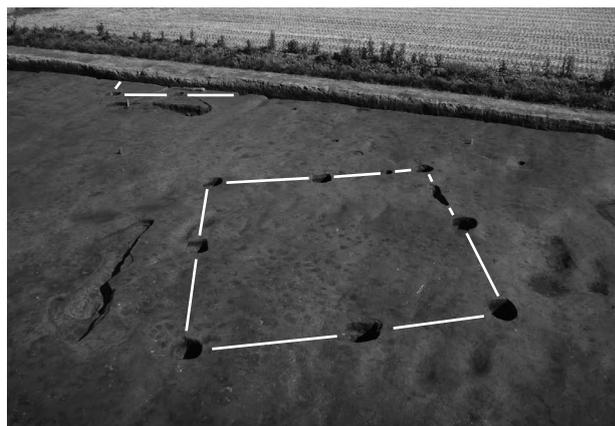
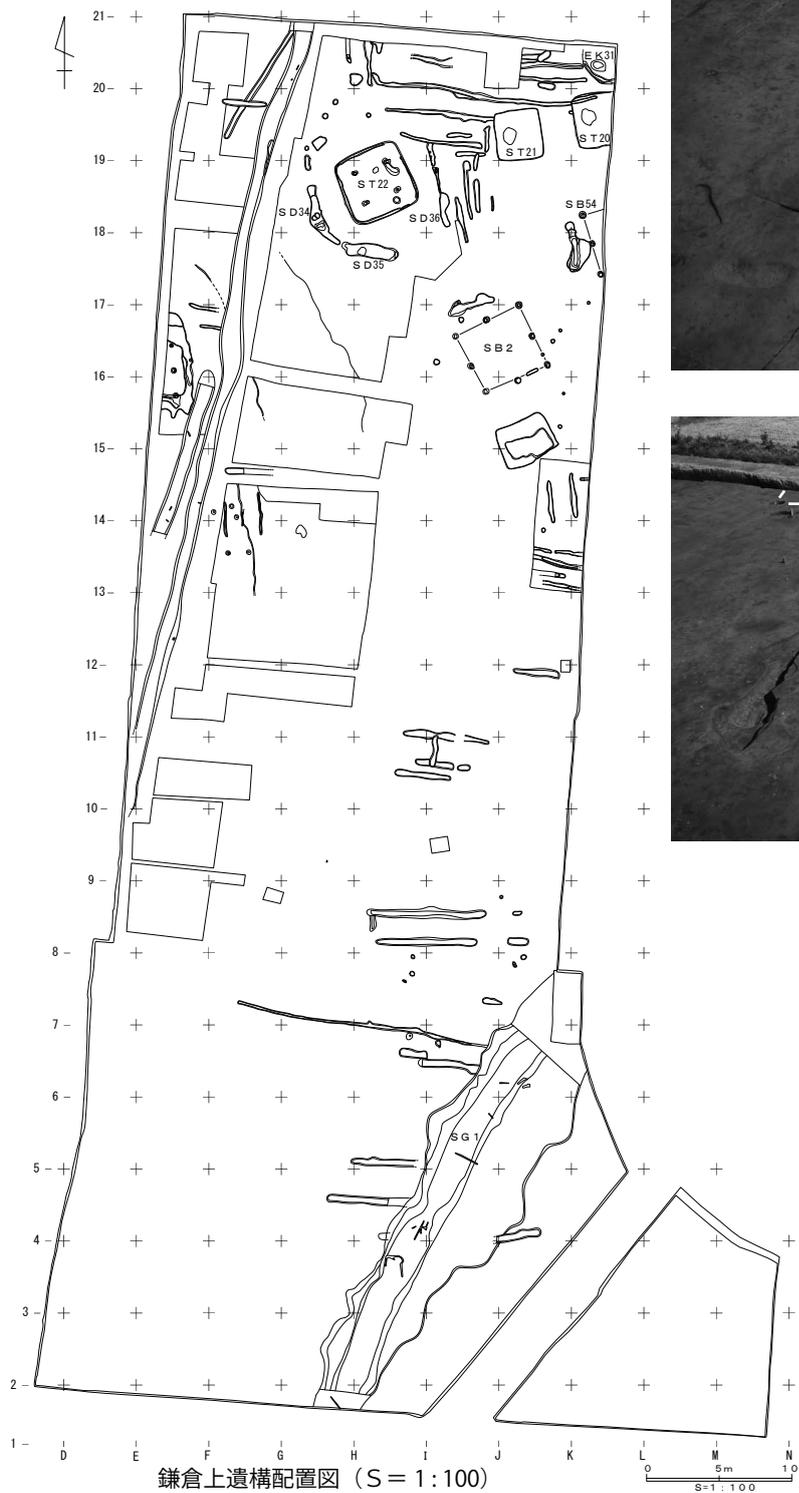
管玉出土状況 (北から)



S T 22 竪穴住居跡遺物出土状況 (北から)



調査区北側の住居跡群完掘状況 (西から)



S B 2 掘立柱建物跡完掘状況 (西から)



調査区南側の河川跡 (SG 1)



S T 20 竪穴住居跡遺物出土状況 (北から)



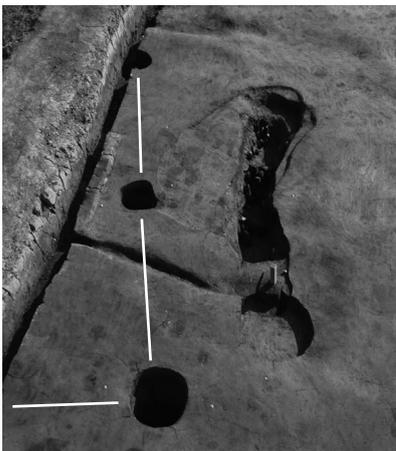
S T 20・21 竪穴住居跡 (西から)



S T 20 住居跡床面出土の土師器 (西から)



S T 21 竪穴住居跡出土の土師器甕 (北から)



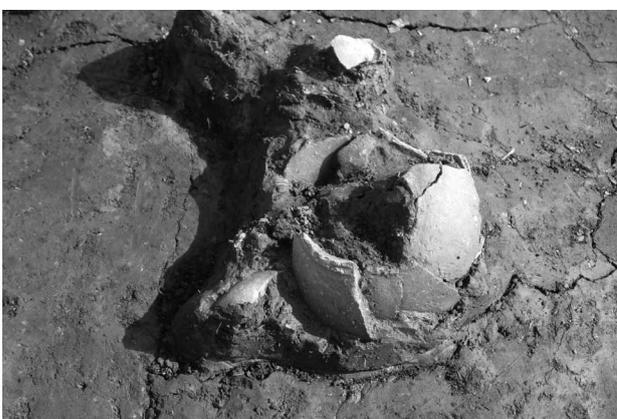
S B 54 掘立柱建物跡 (北から)



E K 31 土坑土師器壺出土状況



調査区西側の遺物包含層 (北から)



赤彩された土師器壺



古墳時代前期の土師器